

歌麿通信「六歌仙図」

市民の皆さんにあまり知られていない本市ゆかりの肉筆画「六歌仙図」をご紹介します。

「巴波川くいで打ちの図」と同じ、栃木の豪商・善野喜兵衛（狂歌名・通用亭徳成）の羽織裏に歌麿が描いた作品です。やはり所在不明です。

六歌仙とは、紀貫之が「古今和歌集」の序文で、「近き世にその名きこえたる人」として挙げた、僧止遍昭、在原業平、小野小町ら平安時代の六人の歌人。

この「六歌仙図」は色男で名をはせた在原業平がほかの四人が居眠りしているときに、小野小町と抱き合って唇を寄せ合っている絵です。



▲六歌仙図の写真

葛飾北斎には絵手本として発行した「北斎漫画」がありますが、こちらは現代の風刺漫画にも通じるユーモアに満ちた作品。「歌麿漫画」とでも呼びびたくなるような面白みのある絵です。同図は75年前、美術専門紙「美術日本」2号（一九三六年）の「現存する歌麿肉筆画」の中に「六歌仙（通用亭徳成使用羽織裏）」と記され、また「歌麿の歌まくら秘画帖」（一九六六年・画文堂）などに写真掲載されています。同秘画帖の中で画商の金子孚水氏は「当時栃木と江戸をかけ持つて商売上手な善野家の若主人通用亭徳成さんから身にあまるごひいきにあずかった、その交遊の深さを物語る遺品」と書いています。

※喜多川歌麿の肉筆画特別公開展の開催日が決定しました。

平成24年11月12日(土)〜27日(日)とちぎ蔵の街美術館

◇問合せ先 本文化課 ☎21-2426

探しています。歌麿に関する情報!! ★提供は 本文化課 学芸推進担当 (☎21-2426) へ

幸せを求めて

問合せ先 人権推進課 ☎24-2444

無縁社会

「無縁社会」という言葉を耳にしたことがあるでしょうか。NHKで多く取りあげ、昨年末の新語流行語大賞にもノミネートされました。

終身雇用制度の崩壊や非正規労働など雇用形態の変化や、少子高齢化、核家族化、一人暮らしの増加など様々な要因から地域や社会とのつながりを無くし、孤立してしまう社会を意味しています。社会とのつながりを無くし起こった「高齢者の生存不明問題」や「秋葉原殺傷事件」など記憶に新しいところですが。

この度日本に甚大な被害をもたらした「東北地方太平洋沖地震」において、国内のみならず、全世界からの協力、支援の輪が広がり、復興に向けて動き始めています。多くの方が人の絆、つながりの重要性、必要性を再認識されたことでしょう。

社会とのつながりの必要性を感じながらも、孤立してしまっている方が大勢います。近所や職場でのあいさつから始め、一人ひとりが、人とのつながりを大切にしている気持ちを持ち続けられれば、この「無縁社会」からの脱却は難しくはないはずです。

謹んで地震による災害のお見舞いを申し上げます。

- 不動産売買・贈与・相続登記・遺言書作成・離婚・内容証明書作成
- 会社設立・役員変更登記・裁判所への提出書類の作成・債務整理
- 建物新築・滅失登記・土地測量・分筆登記 など

(認定) 司法書士・(ADR認定) 土地家屋調査士・行政書士
佐山隆事務所

〒328-0035 栃木市旭町19番16号 栃木市栃木文化会館斜め前
TEL 0282-24-2555 FAX 0282-22-5321 携帯 090-3140-1196 (停電第2)

力をあわせて乗り越えていきましょう。

困っていることはありませんか？

